



プライマリ・ケア診療における症状分析

共通教育科

竹島 太郎 教授

【研究分野】 症状に関する研究、臨床診断に関する研究、予防やリスクに関する研究
 【キーワード】 地域医療、プライマリケア、臨床疫学、ICPC
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=322take>



研究概要

地域医療における課題を解決して現場に役立てることを目標に臨床研究を実施しております。特に臨床現場から生まれる疑問を大切に、漠然とした診療の疑問から切実な課題を明確にし、臨床疫学の手法を用いて課題解決に取り組んでおります。そして、研究の成果を社会に発信するとともに、実臨床や医療関係者の教育活動に還元してまいります。

研究紹介

ICPCを用いたプライマリ・ケア診療における症状分析

小規模病院総合診療科を受診した初診患者の症状（来院理由）と診断病名を明らかにした研究を紹介します。ICPC（International Classification of Primary Care：プライマリ・ケア国際分類）という国際的に標準化されたコードを用いて記述し、国際誌に発信しました（*Int J Gen Med* 2014）。約30種類の症状コードで受診患者全体の80%を占め（図1）、約50種類の病名コードで全体の80%を占める（図2）ことがわかりました。本研究の結果は、総合診療教育カリキュラムの改善に寄与することが期待されています。

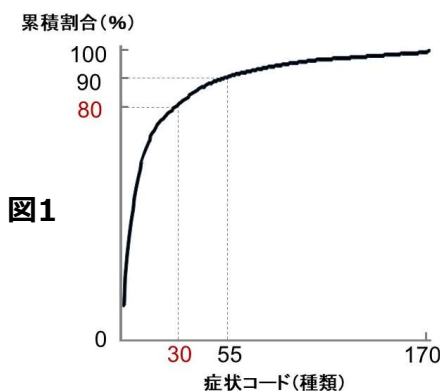


図1

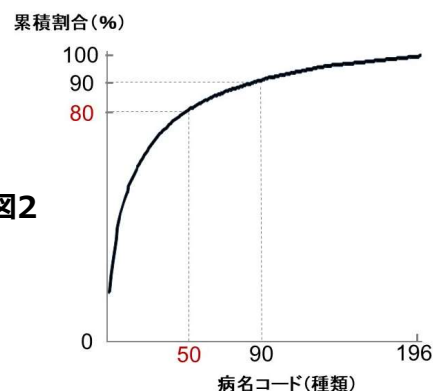


図2

講座テーマ紹介

1. 症状に関する研究

- 初診外来患者における症状と診断病名の記述（上記）
- 精神疾患に関連する症状の探索（*Int J Gen Med* 2015）
- 末梢性めまいの発症率の記述（*Int J Gen Med* 2015）

2. 臨床診断に関する研究

- 菌血症を同定するための臨床診断予測ルールの開発（*PLoS One* 2016）

3. 予防やリスクに関する研究

- 塩分感受性高血圧遺伝子検査希望者の特性（*BMJ Open* 2017）
- 末梢性めまいのリスクの探索
 頸動脈プラークとの関連（*Medicine* 2016）、喫煙との関連（*Sci Rep* 2017）

アピールポイントなど

総合医としてへき地医療に従事してきた経験を糧に、現場の医療者からの切実な問いに応えられるような研究を心がけております。